

CHESS Magazine



#26

June 2026
japanchess.org

Interview
Jie Jingfeiさん

[優勝者自戦記]
中原鑑

全日本チェス選手権2026 -第27回アルゼンチンカップ-

ゴールデンウィークオープン2026 / 年間表彰2025受賞式

全日本ユースチェス選手権2026 優勝者自戦記 森谷翔

FIDE Arbiter's Commission IAセミナーレポート 他



Japan
Chess
Federation

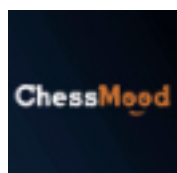
Tournament Report

特集

- ♥ 03 **全日本チェス選手権2026
第27回アルゼンチンカップ**
- ♥ 07 優勝者自戦記「3度目の正直」 中原鑑
- ♥ 10 **ゴールデンウィークオープン2026**
- ♥ 12 **年間表彰2025受賞式**
- ♥ 15 **全日本ユースチェス選手権2026**
優勝者自戦記 森谷翔
- ♥ 17 **FIDE Arbiter's Commission IAセミナーレポート**
アービター委員会

Interview

- ♥ 22 Jie Jingfeiさん
- ♥ 24 チェス大会 in アメリカ NO.89 上杉賀子



全日本チェス選手権

Japan Chess Championship



**Tournament
Report**
大会レポート

全日本チェス選手権 2026

— 第27回アルゼンチンカップ —





初のチャンピオンに輝いた中原さん（右から2番目）

全日本チェス選手権2026 第27回アルゼンチンカップ

2026年5月2日(土)から6日(水・祝)まで5日間、きゅりあん（品川区総合区民会館）を会場にして、全日本チェス選手権2026・第27回アルゼンチンカップが開催されました。スイス式9ラウンド、持ち時間90分+30秒/手のFIDE・国内スタンダード公式戦に今年は67名が出場しました。

今回初めて、出場選手全員の氏名や通算出場回数やコメント（抱負）などが記載されたリーフレットが制作され、記念品として選手に配られました。そこに「とにかく後悔しない試合を指し続けるのみ」とのコメントを寄せた選手が優勝するに至った大会の様様をレポートします（氏名は敬称略）。

今大会では初出場の選手が15人いました。通算の最多出場者は22回目となるIM小島慎也。次いで20回目の野口恒治、そして19回目が3人、IM南條遼介とFM山田弘平とCM松尾朋彦です。その一方で彼らが初めて出場した年には未だ生まれてもいなかった小学生4人（古瀬瑞季、糸数アントニオ、新居冬馬、野田龍）が地区予選を突破して堂々の仲間入りです。伸び盛りの若者たちと肩を並べ、1942年生まれのみFM Jones Stephenも静かに闘志を燃やします。今年のオリンピック代表選手10人中、海外在住者1人を除く9人が出場しました。つわものたちが顔をそろえ、日本で最高峰の戦いの幕が上がるのでした。

波瀾

5月2日午前10:30に第1Rが開始しました。スイス式で組み合わせる初戦は彼我のレーティング差が大きく（スタート順位が1位と33位、2位と34位など）おおむね上位者が順当に勝つとしたものですが、アップセットもありました。28番ボードで三浦義人 1-0 北神匠。28年ぶり（偶然にもボード番号と同じ）に2回目出場の三浦が幸先よく1勝をあげました。

午後15:30に開始の第2Rでは1番ボードで長瀧航太 1/2-1/2 IM Tran Thanh Tu。昨年（2025）も一昨年（2024）も4連勝スタートだったTuが今年は2戦目で早くもドロウを喫し、0.5ポイント（P）を失いました。選手たちの心を騒がす波瀾の幕開けとなりました。

優勝候補たちが苦戦

翌3日午前10:30の第3Rでも1番ボードでCM小林厚彦 1-0 FM大塚翔生。マスター同士のゲームですからアップセットとは言えませんが、レーティング差188を跳ね返しての小林の勝利は耳目を集めました。2番ボードの小島はCM Averbukh Alexに勝ったものの、3番ボードでは森谷翔 1/2-1/2 南條。レーティング差196のドロース。大会前に優勝候補と目されていた選手たちが、なかなか星が伸びません。

そして午後の第4Rではさらなる驚きが待っていました。1番ボードでCM中原鑑が全日本選手権優勝5回の小島に勝ったのです。

この第4R終了時点の状況は、ただ1人4連勝の中原がトップを走り、0.5P差で5人（長瀧、Tu、南條、山田、戸川賢太郎）が追いかける展開となりました。9試合中4試合が終わって大会は後半戦に差し掛かり、ますます混戦の様相を呈するのです。

大会が動く

翌5月4日（祝）午前10:30開始の第5Rでは1番ボードが山田 0-1 中原、2番がTu 1-0 戸川、3番が長瀧 0-1 南條となりました。中原が無傷の5連勝で首位を快走するも、南條とTuが0.5P差を保ってピタリ追走します。

この山田—中原戦は中原による自戦解説「3度目の正直」をお読みください。

そして午後15:30の第6Rで大きな動きがありました。



小島—南條戦

1番ボードで南條 1-0 中原。盤上のそこかしこで複雑に駒がぶつかり合い、手に汗握る展開のなか、一瞬のスキをとらえた南條が黒の本丸に殺到して攻め倒しました。IMの底力を見せつけて首位を奪いました。

2番ボードでは大塚 1-0 Tu。序盤、白の大塚がキングサイドにキャスリングできる局面で、敢えてKe1-d1-c2とクイーンサイドに王様を移動させる柔軟な発想の手を指し、「Wow, wow, wow, I like this! I like this!」(Ter-Sahakyan) とGMがYouTube配信で歓声をあげました。微差ながら終始優位を保った大塚が勝利。首位を目指すTuにとっては痛すぎる敗戦となりました。

この第6R終了時点の順位は

1位 南條 5.5P
2—4位 中原、小島、大塚 5.0
5—9位 小林、Averbukh、山田、Tu、端本俊仁 4.5
です。上位の顔ぶれが大きく変わりました。

抜きつ抜かれつ

続く5月5日（祝）、首位グループがラウンドごとにさらに変動しました。

まず午前10:30の第7Rで1番ボードが小島 1-0 南條、2番が中原 1-0 大塚、3番がTu 1-0 Averbukhとなつて

1—2位 中原、小島 6.0P
3—5位 南條、小林、Tu 5.5
6—9位 大塚、端本、山田、松尾 5.0

となりました。小島と南條との公式戦はこれが76局目でした（*）。20年以上も日本のチェス界を牽引してきた同学年のお二人による“伝統の一戦”を制した小島が中原と共にトップに並び、Tuが0.5P差で追いつがる展開となりました。

*「76試合のうち、白番で5つ勝ち越し、黒番で4つ負け越しでした。つまり、今年の大日本選手権の勝ちで一つ勝ち越しになったようです（笑）」（小島さん談）。他に

非公式戦23試合があり、合計すると99試合目だったそうです。

そして午後15:30開始の第8Rでは1番ボードがTu 1-0 小島、2番が中原 1-0 小林、3番が南條 0-1 山田となって

1位 中原 7.0P

2位 Tu 6.5

3-4位 山田、小島 6.0

5-12位 南條、大塚、小林、松尾、長瀧、汐口達也、Dryglas Maciej、米満康平 5.5

という状況で翌日の最終ラウンドに臨むこととなりました。その1番ボードは、0.5P差の1位と2位の直接対決です。混戦だった今大会の掉尾を飾るにふさわしいドラマチックな展開となるのでした。

もう一つの戦い

全日本の入賞枠は10ですので、5-12位の選手に加え、5.0Pで続く端本ほか5人にも入賞のチャンスが残ります。

そしてもう一つの戦いが勝率5割を巡る攻防です。9試合なので4.5Pを取ることが多くの選手にとって大会に臨んで立てた目標でしょう。8R終了時点でその4.5Pを取った戸川ほか12人にとって、最終戦は順位を一つでも上げる戦いです。続く4.0Pの9人（野田龍、坂井延寿、WCM坂井あづみ、Patil Rushad、古谷昌洋、岡部悠真、田中峻介、杓谷啓太、北神匠）は5割の線上にいるので、次をもしも負

ければ負け越しとなる危険なポジションで最終ラウンドに臨みます。そして3.5Pの新居ほか11人にとっては、勝たねばならない。ドローは負けに等しいという正念場です。スイス式では同じP同士を組み合わせますから、まさにサバイバルマッチが繰り上げられることとなります。

初優勝への道のり

明けて5月6日の午前10:30、最終戦の火ぶたが切って落とされました。衆目を集める1番ボードの大勝負は、白の中原が0-0-0で黒のTuが0-0、互いに相手と反対方向にキャスリングして激しく攻め合い、23手でドローとなりました。手数は短めですが、残り時間は中原が12分でTuは6分。両選手が力を尽くした濃密な戦いでした。この結果、中原が単独1位を確定させて優勝しました！

昨年までの4大会はいずれも過去に優勝経験のある選手が1位となりました（25年Tu、24年と23年は南條、22年は青嶋未来）。「初めての優勝」は2019年の青嶋までさかのぼります。久しぶりの初優勝選手が誕生したのでした。2位からの入賞者と各カテゴリーの優勝者は図をご覧ください。皆さん、おめでとうございます！

（編集部：神田大吾）

大会結果

◆オープン

優勝 CM 中原鑑 7.5/9 P

全日本チェスチャンピオン2026

2位 IM Tran Thanh Tu 7.0

3位 IM 小島慎也 6.5

4位 FM 大塚翔生 6.5

5位 FM 山田弘平 6.5

6位 Dryglas Maciej 6.5

7位 CM 小林厚彦 6.0

8位 IM 南條遼介 6.0

9位 CM 松尾朋彦 6.0

10位 米満康平 6.0

◆各カテゴリー1位

女子 WCM 坂井あづみ 5.0/9 P

ユース 松永冬馬 5.5

シニア CM 松尾朋彦 6.0

[参考] 今年のオリンピックで日本オープンチームのコーチを務める[GM Samvel Ter-Sahakyan](#)（アルメニア）が自身のチャンネル（[Japan Chess Championship 2026 -The 27th Argentina Cup](#)）で5月2日の初日から6日の最終日まで上位ボードのゲームを解説しています。

3度目の正直



優勝者自戦記
中原 鑑

初日、2日目と連勝を重ねて4ポイントで単独トップに立って迎えた3日目でしたが、5R相手は山田弘平さん。去年は全日本のR5とJapanOpenのR7で計2度対戦していましたがいずれも敗戦でした。そのうえその2大会では山田さんに負けて以降のラウンドで1度も勝つことができず、流れが悪くなってしまった苦い経験がありました。そのため今年は何とか負けを避けたいと思いながら対局に挑みました。

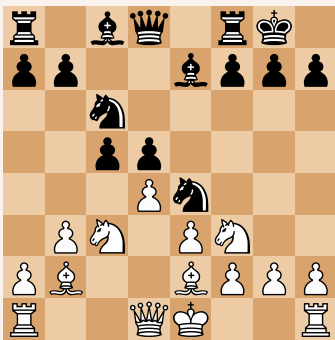
FM Yamada, Kohei (2182)

CM Nakahara, Kan (2244)

Japan Chess Championship 2026(5)

English Opening A15

1.c4 Nf6 2.Nf3 e6 3.Nc3 d5 4.e3
Be7 5.b3 0-0 6.Bb2 c5 7.cxd5
exd5 8.d4 Nc6 9.Be2 Ne4



10.0-0 ここからは未知の領域です。10.dxc5には10...Bf6や10...Qa5がよい返しです。

10...Bf6 11.Rc1 cxd4 12.Nxe4



12.exd4や12.Nxd4Nxd4 13.exd4ではいずれもb2の黒マスビショップが自らのポーンに動きを遮断されます。

去年の負けた2試合はいずれも序盤で崩れてしまっていたため、ここまでいい形で乗り超えられて一安心です。

12...dxe4 13.Nxd4 Nxd4 14.Bxd4
Be6 15.Bxf6 Qxf6 16.Rc7 Qb2
17.Rc2 Qe5

黒はルークをdファイルで白のクイーンにすぐぶつけられるうえ、クイーンの位置もよくて満足です。

18.Qd4 Qxd4 19.exd4 白は黒の強力なクイーンの交換に成功しましたがd4の孤立ポーンの扱い方が難しいです。

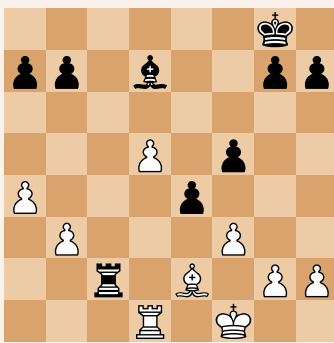
19...Rfd8 20.Rd1 Rac8 21.Rxc8
Rxc8 これで唯一のオープンファイルを黒のものにしてチャンスを作

ります。

22.d5 Bd7 23.Kf1 Rc2?!

少し急ぎすぎました。後述しますがここは落ち着いてf5からe4のポーンのサポートとスペースの確保を優先したほうがよかったです。

24.a4 f5 25.f3!

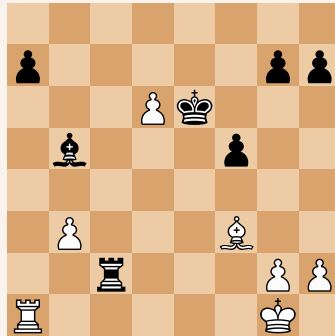


この手を過小評価していました。手元にあると思っていたアドバンテージが消えていき、少し焦り始めます。

25...exf3 白のビショップが機能してしまうので苦渋の決断です。

25.Kf7 26.fxe4 fxe4 Rd4ではe4の守りとdポーンの阻止の両立が厳しいです。**23.Rc2**の代わりにすぐ**f5**をつけていれば1手はやいたため**Kf7→f6→e5**でe4のディフェンスに間に合っていました。

26.Bxf3 b5 27.axb5 Bxb5+ 28.Kg1 Kf7 29.d6 Ke6 30.Ra1?!



30.Bd5+ Kd7ではBg8にも注意しなければならず、黒はアドバンテージをつかむのがかなり難しかったです。ここでようやく落ち着きを取り戻し始めます。

30...a6! 31.Rd1

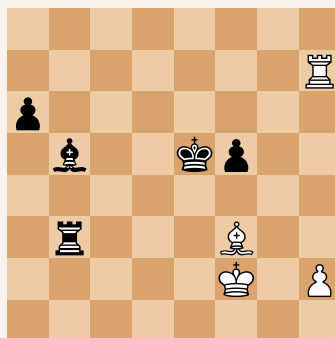
31.Bb7には**31...Bc6! 32.Bxc6 Rxc6!**でd6のポーンを回収できます。

31...Kd7! これでビショップはdポーンを心配する必要がなくなり、d6のポーンが白の弱点として浮き彫りになります。

32.g4 Rc3 33.Kf2 g6 34.gxf5 gxf5 35.Rg1?

自然な手に見えますが**35.b4**で黒は粘るべきだったようです。

35...Kxd6 36.Rg7 Rxb3 37.Rxh7 Ke5



1ポーンアップのルーク+同色ビショップのエンドゲームに入りました。白キングがセンターにあがってこれられないよう黒は自らキングを進めて道を封じに行きます。

38.Ra7 Kf4 39.Bb7 Rb2+ 40.Kg1 Ra2 41.Bc8 Bd3 42.h4? Kg3!

これで二つ目のポーンが回収できます。白は**42.Bb7**などで様子を見るべきでしたが、ここまでくると時間の問題です。

43.Rg7+ Kxh4 44.Rg2? Ra1+ 45.Kf2 Ra2+ 46.Kg1 Ra3?

a1のマスが黒マスのため、白のキングがa1に間に合ってしまうと白はビショップをfポーンと強制交換してしまえば引き分けになってしまうのですが、**44.Rxg2 Rxg2 a5**で白はaポーンを止められず勝ちだったようです。時間切迫もあるため、ミス避けるためにもルーク交換を避けます。

47.Kf2 Be4 48.Rg7 a5 49.Ke2 Rc3 50.Bd7 Ra3 51.Kd2 a4 52.Be6 Rd3+ 53.Ke2 a3 54.Rg8 Rc3 55.Kd2 Rc6 56.Bb3 a2 57.Bxa2

57.Rg1には**Bb1!**があります。

57.Rc2+ 58.Ke3 Rxa2 59.Kf4 Rf2+ 60.Ke5 Rf3

0-1

これで山田さんから公式戦初勝利をあげ、5戦全勝のまま6試合目へと進むことができました。この一戦を勝ち切れたことで最終ラウ

ンドまで自分のプレイに自信を持つことができました。今振り返ってみても今大会の流れを最も大きく左右することになった一戦だったように感じます。次の試合で南篠さんに敗北を喫したものの、気持ちを切り替えて翌日はなんとか2連勝することが出来ました。そして優勝のかかった最終戦はTuさんとの対戦になりました。Tuさんとは公式戦でなかなか対局する機会に恵まれず、この大一番が初対戦でした。実は今大会、以前から一度対戦してみたいと思っていたTuさんとポイント数的に途中どこかで当たれるだろうと組み合わせを見ながら密かに楽しみにしていましたが、なかなか組み合わせられないことに疑問を感じていました。

そんななか、まさか優勝のかかった最終ラウンドで初対戦が実現するとは思ってもおらず、Tuさんがラスボスとして待ち受けているかのような感じがしてうれしく思うと同時に闘志が燃え上がりました。

引き分け以上で優勝、負ければ優勝を逃す緊迫した場面でしたが、不思議なことに、プレッシャーはほとんどなく、気負うことなく最後の戦いに挑めました。結果、試合は内容として非常によく、優勢を築いたうえでのドローだったため、最高の結果で大会を締めくくることができました。

優勝についてですが、実は7試合目が終わるまで優勝に関して全く意識していませんでした。優勝ス

ピーチでもお話させていただきましたが、去年の全日本では苦戦して25位で終わっており、非常に悔しい思いをしました。昨年は初めてレートが2200に到達したのもあり、優勝への思いが強すぎてしまったのが調子を落とした一因だったと思っています。その分今回はいい意味であり自分に期待しておらず、それも今回の初優勝につながったのではないかなと考えています。

これからは追われる立場になることも増えてくると思いますが、これからもチェスを楽しむ気持ちを忘れずに実力を磨いていきたいと思っています。連覇を目指して頑張ります！



中原一Tu戦



Open 優勝者 Meiyazhagan Kaviinayan

ゴールデンウィークオープン 2026

2026年5月4日(月・祝)と5日(火・祝)と6日(水・祝)、東京品川のきゅりあんを会場にしてゴールデンウィークオープン2026が開催されました。スイス式5ラウンド、持ち時間90分+30秒/手のFIDE・国内スタンダード公式戦です。じっ

くり考えて指せる長い持ち時間のゲームがしたい人にはうってつけの大会です。屋外は時に強風が吹き荒れるあいにくの天気となった日もありましたが、試合会場は静寂に包まれ、存分にチェスを楽しむ充実の3日間となりました。

参加者は昨年(91名)を上回る125名に達しました。毎年この時期に開催される恒例の大会で、お互い顔なじみの常連がい

れば、これが初めてのFIDE戦だという“新人”もいて老若男女、多士済々です。オープン79名とグループA(U1700)46名に分かれ、熱い戦いを繰り広げました。

オープンでは韓国から参戦したMeiyazhagan Kaviinayan(2016年生まれ)が注目の的となりました。まだ子どもながら、1手1手に時間を使って、じっくり指す姿は大人顔負けです。成績も素晴らし

Open 入賞者



く、レーティング1700台から1800台の選手を次々となぎ倒し、5戦全勝して優勝しました。また、今大会から「オープンクラスの日本チェス国籍の最上位者には全日本チェス選手権2027のシード権を与える」選考規定が設けられ、Clark Domenicがこれを獲得して来年の全日本チェス選手権の出場資格を得ました。おめでとうございます！

グループAでは、レーティングのスタート順位が1位の大谷拓也がその実力を遺憾なく発揮し、4勝1ドローで優勝しました。同15位の井上聡美が3勝2ドローで2位に入ったのは大躍進です。おめでとうございます！

勝ってうれしく、負けて悔しい。参加された選手の皆さんの感想は人それぞれでしょうが、同じ趣味を持つ同士、また来年お会いしましょう！

(編集部：神田大吾)



対局中の様子

結果

オープン

- 1位 Meiyazhagan Kaviinayan 5.0/5 P
- 2位 Clark Domenic 4.0
- 3位 Xiao Ruhan 4.0
- 4位 Moawad Matthew 4.0
- 5位 佐々木 耀志 4.0
- 6位 安田 桜輔 4.0
- 7位 Jin Sangwoo 3.5
- 8位 杉本 公一 3.5

グループA

- 1位 大谷拓也 4.5/5 P
- 2位 井上聡美 4.0
- 3位 Fletcher William 4.0
- 4位 Plattner Ian 4.0
- 5位 Chung Kwok Kwan 4.0

U1700 入賞者





年間表彰2025受賞式





ベストプレイヤー賞受賞 FM 大塚翔生氏

年間表彰2025受賞式

2026年5月4日（月・祝）、全日本選手権の3日目でありゴールデンウィークオープンの初日でもあるこの日の午前10時、きゅりあんの大会議室で年間表彰2025受賞式が行われました。

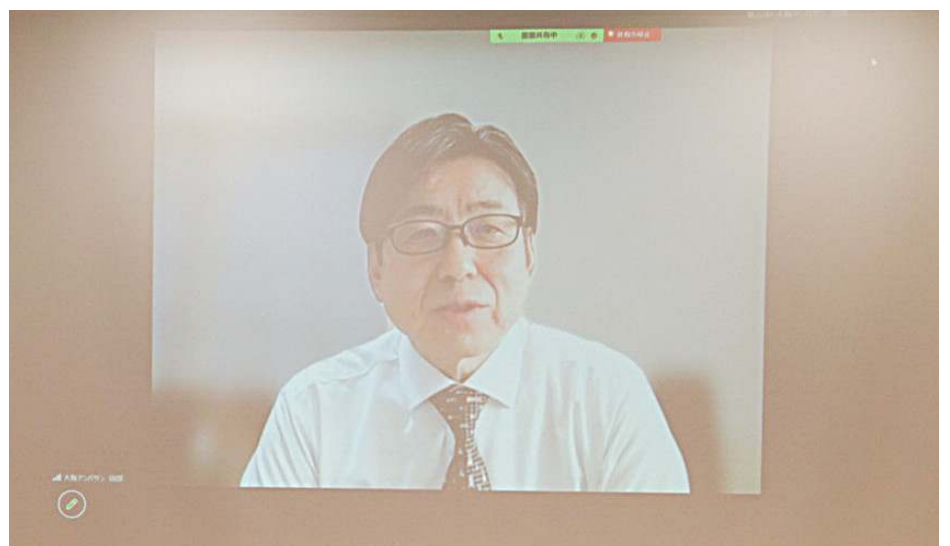
ベストプレイヤー賞はFM大塚翔生氏。IMタイトル獲得を目指して積極的に海外遠征を繰り返し、獲得に向けて大きく前進したことが受賞理由です。年間で13の海外大会に出場し、最高レーティングが2362に到達しました。そして5月のAsian Individual Chess Championship、12月のFirst Saturdayにて、それぞれ自身1つ目、2つ目のIMノームを獲得しました。

最多対局賞は田部正治氏。連盟主催とクラブ主催を問わず公式戦

の場に積極的に参加し続け、年間で最多85局の国内スタンダード公式戦を対局したことにより受賞しました。

ベストアービター賞はFA平塚義啓氏。年間を通じて連盟主催の主要大会において精力的かつ安定した大会運営を行ったことが受賞

理由です。同氏は2025年度の全日本カデッツ選手権、ラピッド選手権、チーム選手権でCAを、全日本選手権およびジャパンチェスクラシックでDCAを務めました。年間の担当大会数および実務量が際立って多く、また11月にはFA資格を取得するなど、アービター



最多対局賞受賞 田部正治氏

としての資質向上と今後の活躍が期待される点も高く評価されました。

ベストクラブ賞は札幌チェスクラブ。2026年1月に開催された第15回クラブリーダーミーティングにて、出席クラブの投票で最多票を獲得したことにより受賞しました。同クラブは全日本選手権地区予選だけでなく、定期的に公式戦の例会や大会を開催しました。また7月には連盟とジャパンチェスクラシックを主催。11月には全日本チーム選手権にも出場しました。アービターの育成にもクラブとして取り組み、11月のNAセミナーと試験を通じて3人のクラブ関係者がNA資格を取得したことも高く評価されました。

受賞者の皆様、おめでとうございます！

(編集部：神田大吾)



ベストアービター賞受賞 FA 平塚義啓氏



ベストクラブ賞受賞 札幌チェスクラブ
代表 杉本公一氏

全日本ユースチェス選手権2026 優勝者自戦記



優勝者自戦記
森谷翔

今回は3回目の参加となりました。以前の2回ではカテゴリー別では1位を取れていましたが、試合の内容にはあまり満足が行かなかったため、今回はいい試合を指して今度こそ優勝したいと思っていました。

初日は順調に全勝で終わり、良い気分です。2日目に突入しました。そして4ラウンド目も勝ち、全勝は僕のみでした。僕はこのときにはもう優勝を意識していたのか、緊張していました。そういう気持ちのなかで5ラウンド目に挑みました。

Moritani, Sho (2077)

Yamakawa, Kazumasa (1804)

Japan Youth Chess Championship
2026(5) B10

1.e4 c6 2.Nc3 d5 3.Nf3 dxe4
4.Nxe4 Nf6 5.Qe2 Nxe4 6.Qxe4
Nd7 7.Bc4 Nf6 8.Ne5! e6 9.Qe2

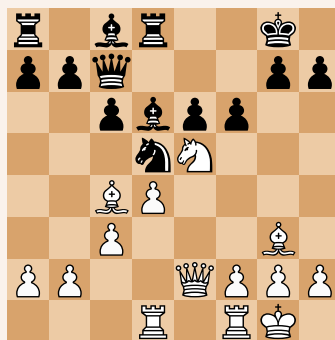


狙い通りのポジションとなりました。普通のCaro-Kannとちがって黒の白マスビショップがf5やg4に



展開できない状況なので、白は若干良いです。

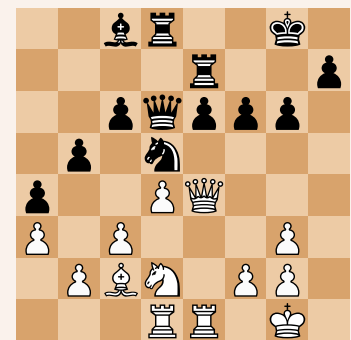
9...Be7 10.0-0 0-0 11.c3 Qc7
12.d4 Rd8 13.Bf4 Bd6 14.Rad1
Nd5 15.Bg3 f6? これを指してしまうとe6のポーンと黒のキングが弱点になってしまうので、悪手です。b6-Bb7-c5の手筋で白マスビショップを展開するのが最善です。



16.Nf3?! 僕はここでNf3とNd3で迷い、8分間考えました。すぐにBd3と引けることによって相手のキングへの攻撃がしやすくなることから本譜を選びましたが、実際にはNd3-c5のアイデアがあることやf3のナイトはf6のポーンにより前

進が制御されていることから、Nd3の方が少し良かったです。

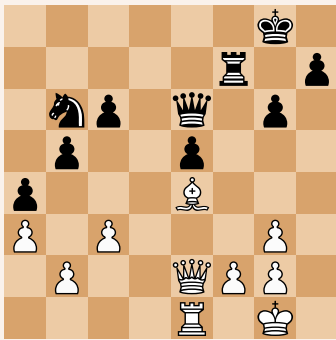
16...b5 17.Bb3 Bxg3 18.hxg3 a5
19.Bc2 Qd6 20.Nd2 a4 21.a3 Ra7
22.Rfe1 Re7 23.Qe4 g6



24.Nf3? ここは24.c4!と指す必要がありました。試合中は白のd4ポーンがIQPになることを恐れて指しませんでした。bxc4と黒が取ってしまうとa4とc6のポーンがすごく弱くなるので、黒はNc7とナイトを引かなければならず、この場合白はほぼ勝勢です。

24...Rf8 25.Qd3 e5 26.dxe5 fxe5
27.Ng5 Bf5 28.Qe2 Qf6 29.Ne4

**Bxe4 30.Bxe4 Nb6 31.Rd3 Ref7
32.Rf3 Qe6 33.Rxf7 Rxf7**

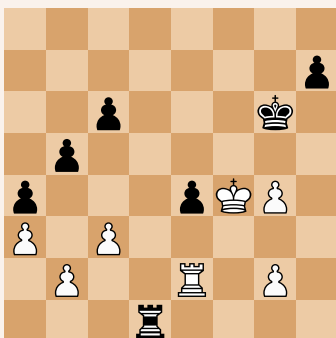


この時点ではほぼ互角です。

**34.Bd3 Re7 35.Qe3 Nc4 36.Bxc4
Qxc4 37.Qg5 Qe6 38.f4?!**

時間が切迫していて焦ってしまいましたが、大したミスではありません。

**38...e4! 39.g4 Re8 40.f5 Qe7
41.Qf4 Qc5+ 42.Kh2 Qe5 43.Kg3
Kf7 44.fxg6+ Kxg6 45.Qxe5
Rxe5 46.Kf4 Rd5 47.Re2 Rd1**



何とか勝とうと少し粘りましたが、もうドローです。

**48.Kxe4 Kg5 49.Kf3 Rd3+ 50.Kf2
1/2-1/2**

優勢を築いたのにドローにしてしまい、少し残念な結果でした。

そして最終ラウンドは松永君との対戦でした。この時点ではまだ1位で、同じ点数の松永君とはBuchholz-Cut 1で1.5差がありました。タイブレークで僕より上だったのは0.5点下のNg君のみだったので、Ng君がドロー以下ならば僕がドローでも優勝できるという計算でした。そして試合が始まり、僕はオープニングからミドルゲームにかけて少し優勢になりました。同じ頃ぐらいにNg君の試合がドローになりました。そして少し悩んだ後、「優勝を固めたい」という思いで僕はドローオファーをし、相手はそれを受けました。僕はその時点で「優勝だな」と思いましたが、少し安心するのが早かったです。ラウンドが進むにつれてタイブレークでまくられそうになりました。「もしもまくられたらどうしよう?なんであの時ドローオファーをしたんだ」と焦りと後悔

の気持ちに包まれました。結局は逃げ切りましたが、「最後まで戦いきる」という大事な教訓を学びました。最後はいろいろありましたが、優勝できて嬉しかったし、ほっとしました。

今回の大会で一番嬉しかったことはユースチャンピオンの優勝メダルです。日本の伝統工芸である螺鈿細工が施された漆塗りと彫金で作られています。人生の半分以上を海外で過ごしてきた僕は、日本の文化に興味がありました。そしていざメダルを自分の目で見てみると、細かい部分まですべてが整っていて、とても美しいと思いました。「これを作るのにどれぐらいの時間と手間がかかったのだろう」と考えながら、帰りの電車に乗りました。ご寄贈いただいた栗林さん、ありがとうございます。



FIDE Arbiters' Commission IA セミナーレポート

【文】 アービター委員会



アービター委員会：ナショナルアービター（以下NA）は、国際チェス連盟（FIDE）が定めるチェス審判資格の一つである。国内におけるNAの育成を目的として、2024年5月にNA制度が創設された。制度運営にあたって、2025年3月にFA（FIDE Arbiter、NAの上位資格）阿部裕太氏を委員長とするアービター委員会が設置され、NAセミナーの実施、資格試験の作成・運営、資格認定などを担うこととなった。委員会では、NA資格保持者の拡充を通じて、国内における公式チェス大会の開催機会を増やし、競技環境の整備に向けて積極的に活動を行っている。

今年2月の末、FIDEが主催するInternational Arbiter Certification Seminar（略称「IAセミナー」）に日本から3人のFide Arbiter（FA）、阿部裕太さん、岡部友紀さん、平塚義啓さんが挑戦しました。日本を含め17の連盟から合計26人が参加。いずれもFAの資格を持ちアービター実務に携わっている人ばかりですが、修了試験に合格したのは17人。合格率65%ですから厳しいです。しかし日本の3人は3人とも合格しました！（CHESS Magazine編集部記）

プロローグ

阿部「会話に混ざれる気がしない」；岡部「絶望しかない」；平塚「いやー…(眠くて思考停止)」

これがIAセミナー初日（2月22日朝5時時点）の感想でした。今回の23rd IAセミナーは2026年2月21日・22日・28日・3月1日の5PM～9PM（CET）、すなわち日本時間2月22日・23日・3月1日・2日（1AM～5AM）の4時間×4スロットのオンラインセミナーです。時差って怖いと改めて感じました。

最初はディスカッション型ケースステディから始まり、次に最新の改正、さらに次のケーススタディ・・・まったく答えられない、

というか、明確な解答がない。初日の最初の1時間でIAセミナーの洗礼を受ける3人。とりあえず3人とも同じ回に参加してよかったと思ったのは言うまでもありません。

1)アービターおよびアービターノームについて（筆者：岡部）

アービターとは大会主催者とプレーヤーの橋渡し役です。アービターの職務は（1）ルール順守/競技進行の監督、（2）プレーヤーの対局環境維持、（3）不正防止(アンチチーティングガイドライン)への

の取り組み、等が挙げられます。また、アービタータイトルの概要は以下の通り。

- ①ナショナルアービター（NA）：日本チェス連盟が付与する国内向けアービター資格。アービターとしてはここがスタートポイント。
 - ②FIDE アービター（FA）：FIDEが付与するアービター資格。国際的なアービターとなるための入門。
 - ③Internationalアービター（IA）：FIDEが付与するアービター資格のうち最上級。
- 各アービター資格取得要件は下表Table 1参照。

Table1

	試験合格要否	実技要件	言語
ナショナルアービター（NA）	要	不要	日本語
FIDEアービター（FA）	要	必要（3つ）	以下のいずれかの言語アラビア語、英語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語
Internationalアービター（IA）	要	必要（4つ）	英語

なお、2021年7月以降においてIA取得要件にセミナー受講が追加されたため、日本人としてのIAセミナーの受講は初めてになります。いずれも、レーティング関係なく取得可能な資格であるため（実際、岡部はレーティングが高いわけではない）興味がある人はNAに挑戦してみしてほしいです！

FAおよびIAノームの詳細は以下のFIDEサイト参照。

[FIDE Handbook B.06.1 – FIDE Regulations for the Titles of Arbiters effective from 1 March 2026](#)

2)IAセミナーにおけるテーマ一覧（筆者：岡部）

IAセミナーにおける講義内容は下表Table 2を参照ください。セミナーで最も受講者で盛り上がった話題は「選手が3回同一局面やドロオファの方法をよくわかっていない」ということについてでした。世界中のアービター、この話題が好きすぎます。また、講義中は講師が出した練習問題に対して受講者がディスカッションする形式が多く、議論が白熱しました。その結果、時間が押しすぎてしまいDay3以降においてマイナー論点は

省略されていた気がします。

なお、2026年3月1日以降適用の制度改正によってIA実技ノームを付与できる人はIAのみに限定されたため、この時点で国内開催の大会ではIAを海外から招聘しないかぎり、IAノームが付与されることが確定しました。国内にIAがない日本のチェス事情ではクリティカルな改訂で、3月2日の1AMに本件を知った3人とも顔面蒼白かつ10分間PCの前で硬直していました（；ω；`）

Table 2 Aセミナーの講義内容

日程	項目（英語）	項目（日本語）	時間	セミナー内解説
Day 1	Law Changes	制度変更について	1.5	有
Day 1	Practical applications of the Laws	Laws of chess実務編	2.5	有
Day 2	Arbiter Regulations	アービター規定について	1	有
Day 2	Player Title Regulations	プレーヤータイトルについて	1.5	有
Day 2	Pairing Exercises	ペアリング練習	2	有
Day 3	Technical Items (inc tie breaks)	技術編（タイブレイク等）	1	有
Day 3	Fair Play (Case Studies and precautions)	フェアプレーおよびアンチチーティング（ケーススタディ含む）	2	有
Day 3	Setting clocks	チェスクロックの設定について	1	無
Day 3	Running Chess Events (including Duties of the Chief Arbiter)	大会運営およびチーフアービターの役割について	2	有
Day 4	English term	チェス用語について	1	無
Day 4	Conclusion	まとめ	0.5	無
Day 4	Assessment	筆記試験	3	-

3)IAセミナー試験仕様（筆者：平塚）

日時：2026年3月2日（月）午前2:00～5:00（日本時間）

フォーマット：Microsoft Formsを使用したオンライン試験

使用言語：英語

監視方法：カメラON、マイクON、画面共有ON（Zoom）

資料参照：可

禁止事項：AIの使用、および他者との一切の交信

まず、試験時間です。午前2時から5時。さすがに48歳になる平塚には、なかなか厳しい時間帯でした。前述のとおり、試験は4日目の最終セッションで行われました。つまり、セミナーを受講し続けて体力も集中力も削られたところで、深夜に本番の試験を迎えることになります。昼寝はしたものの、眠いものは眠いのです。

とはいえ、ここが勝負所です。ちょっと危ない量のカフェインと、普段は飲まないエナジー系飲料を投入して臨みました(!?)。

（※昼間ならこんなことはしません。なお、カフェイン自体はWADA/JADAの禁止物質ではありません。ただし、健康上おすすめできる摂取方法ではありません。）

また、他者との交信は禁止されており、画面共有も必須でした。心強い仲間である阿部さん、岡部さんと相談することも、もちろんできません。カメラとマイクをONにすることで、試験中に第三者と会話していないかを確認し、画面共有によってチャットやAIなどを

使用していないかを監視する方式だったと思われます。オンライン試験ではありますが、決して「家で気楽に受けられる試験」ではなく、かなり緊張感のある環境でした。

午前2時、参加者全員で改めて注意事項を確認し、いよいよ試験開始です。

問題数は13問。選択問題はなく、すべて論述形式でした。内容は幅広く、対局中に発生した状況についてLaws of Chessに基づき、場合分けも含めて根拠を示しながら裁定する問題、対局履歴に基づいたペアリングの問題、個人結果からMaster Normに到達できるかを計算する問題、さらにアービターの育成やリーダーシップに関する問題などが出題されました。例えば、ペアリングに関する問題では、次のような形式の問題が出ます。

===

例：

9-Rounds Swiss Tournament.
Which color is allocated for Nakahara in the final round against Tu, and why?

Color History

Nakahara (R2244, 7pt):

WBWWBWW

Tu (R2402, 6.5pt):

WBWBWBWW

解答例：連盟X参照 (2026年5月5日 20:47)

===

3時間で13問と聞くと、単純計算では1問あたり約14分です。しかし

実際にはLaws of ChessやFIDE Handbookを参照し、該当する条文を探し、その内容を正しく理解したうえで、英語で論述しなければなりません。かなり時間に追われる試験でした。

また、単に条文を知っていればよいというものでもありません。FIDE Handbook / Laws of Chessのどこに何が書かれているのか、構造がどうなっているのか、ブラウザ上で目的の情報に素早くたどり着けるか。そうした実務的な検索力も問われます。

中には、条文そのものではなく、Arbiter's ManualのTIPSに書かれている内容を探し出さなければならない問題もありました。アービターとしての知識や判断力に加え、「必要な情報を限られた時間で正確に見つける力」も重要だったと感じます。

今回の講義資料には問題集が添付されており、試験の準備としてこれを3人で分担して解き、互いに答え合わせをして準備していました(!!)。そのおかげで、本番でも全問に解答することができました。

「プレバが刺さる」とは、まさにこういうことなのだと思います。とはいえ、問題集に答えは用意されておらず、「我々はこう答える」まで準備はできましたが、自信はありませんでした。

午前5時、試験終了後、3人で感想戦。憔悴しきったなかでのそれは、自己採点や答え合わせというより、もはや「傷のなめあい」に近いものでしたが、それでも、ざっくりと採点しながら、今後IAセ

ミナーを受ける人のために何ができるかを語り合いました。

そして最後に、「全員落ちたらインドネシア」を約束(※)して解散。そのまま出社しました。そう、これは月曜日の早朝のお話でした。

※昨年のジャパンオープンでCAを務めてくださったBong Bunawan氏がインドネシア在住のため、教えを請いに行こうという話をしていました。

試験に合格したからといって、すぐにIAタイトルを獲得するわけではありません。実務Normが4つ必要です(IA 実務Norm 現在取得状況：阿部／岡部 1、平塚 0)。今回のセミナーと試験を通じて、アービターに求められる知識の広さ、判断の正確さ、そしてチームや大会全体を支える責任の大きさを改めて実感しました。

4)FA試験との違いについて (筆者：阿部)

FA試験はとにかく物量の多い試験でした。はじめの数問が選択式の問題で残りがすべて記述式の問題になります。記述内容もかなり多く、設問によっては場合分けをしてそれぞれのケースに応じた裁定を解答してはじめて正解となります。そのため3時間ですべて解ききるのが困難で、早く正確に解答することが求められます。

一方で今回受けたIA試験は、問題数に対して試験時間に余裕があります。ただし問題自体がLaws of Chessのどの条文を参照したらいいのかすらわからないような細かな事例を題材に「あなたがCAだった場合どうするか答えなさい」といった出題の仕方です。

これは裁定の中身だけでなく、裁定に至るまでに参照した条文や論理立ての過程、またはアービタ

一のチームとしてのマネジメントに関する言及を含めた総合的な解答を求められていると思われます。そのため1問あたりに要する時間が多く、問題量に対してかなりヘビーなもので、全体的にFA試験と比べ難易度は高いように感じました。ただ、明確な答えがないような問題は難しくはあっても解答の自由度が高く時間も潤沢にあるので、人によってはFA試験より楽だと感じる人もいるかもしれません。このあたりは向き不向きがありそうです。

5)写真、合格Certification

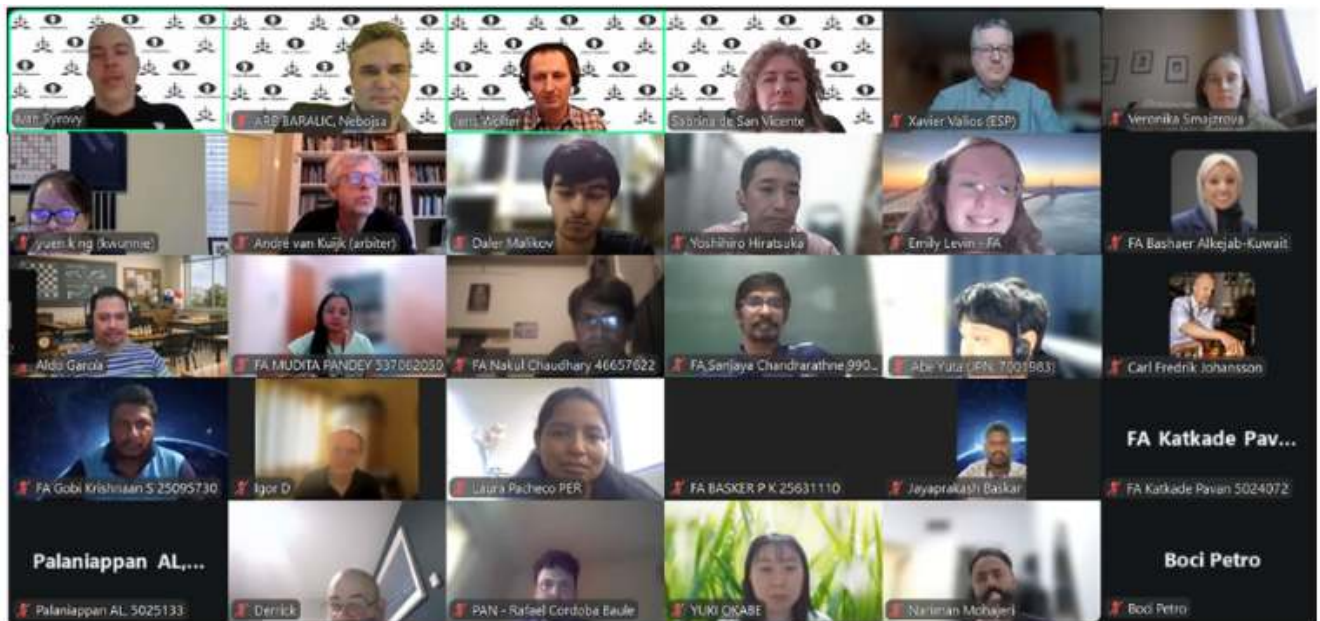
IAセミナー受講者で撮影した写真がこちらになります📷 深夜・早朝受講のため、めっちゃ眠そう🌚 以下の”23rd IA Seminar – Report”

リンクも開いてみてください！
[23rd IA Seminar – Report – FIDE Arbiters' Commission](#)

Table3 NA/FA/IA試験内容比較

試験の種別	試験時間	問題数	合格基準	特徴
NA(JPN)	1h	15問程度	100点満点中80点以上	FA試験の問題を参考に日本語で出題
FA	3h	50問程度	得点率80%以上 (FIDE Handbook明記)	選択問題や明確な解答があるケーススタディを出題
IA	3h	13問	非開示 (FIDE Handbook 記載なし)	明確な答えがないようなケーススタディや手組みのペアリング、ノーム計算を出題

※本章での試験内容に関する記述は筆者が受験した際の記憶をもとに書き起こしたもので、FIDEが公式に出している情報ではありません。



なんと、Certification (修了証書)も来ました！FAのときはCertificationなかったので嬉しい♡



本体験談を通じて日本人初受講であるIAセミナーの雰囲気および合格証書をゲットした3名の欠伸と眠気と不安と喜びが伝わったならば幸いです。

「IAはハードル高いけど、ちょっとアービター業務に興味あるな」とか「プレーヤーとしてルールを理解しておきたい」と思った方、是非NA（もちろんFA&IAも！）挑戦をお待ちしています☺

Interview Next Generation

ユースプレイヤー
インタビュー

このコーナーでは、これからの日本チェス界を盛り上げる若手プレイヤーをご紹介します。第15回目に登場してくれたのは介婧菲さん。4月に開催された全日本ユースチェス選手権ではU16の категорияで3位、U16女子で1位を獲得し、着々と力を伸ばしているプレイヤーです。幼い頃からチェスを始め、日本で初めて参加した大会がきっかけで国内外の大会にも積極的に参加するようになったそうです。日本国内では数少ない女子プレイヤーの一人として、これからの挑戦と活躍を期待したいです。

Interviewer



Kanako
Kinoshita

介婧菲さん(14)



Data

介婧菲 (じえ・じんふえい)
2011年10月11日生まれ
出身地：中国上海
趣味：チェス、撮影、F1観戦
学校の好きな教科：英語
将来の夢：チェスのグランドマスター
好きな食べ物：りんご

チェスとの出会いは？

5歳の頃、囲碁を習いたかったのですが定員が満員だったため、チェスを始めました。徐々にチェスに興味を抱くようになりました。6歳の時、日本で初めて参加した大会「第14回国際親善チェス大会」にて、Dクラスで4位になりました。その後、国内外の様々な大会に挑戦するようになりました。

チェスを続けている理由は？

チェスが好きで、強くなる過程が楽しいからです。

チェスのどんなところが特に好き？

チェスをしている時間は楽しいです。勝てた時は大きな達成感を得られます。

好きなプレイヤーは？

Hikaru Nakamuraが好きです。

普段どこでチェスをしていますか？

普段はオンラインで練習しています。たまに母と対局もしています。よく大会に出場し、自分を高めています。

印象に残っている大会、ゲームは？

ジャパンオープンが印象に残っています。9ラウンドと長丁場で大変でしたが、多くの強豪と対局し、たくさん学びました。この大会では、様々な国の方と対局することができ、嬉しさもあれば悔しさもありました。特に韓国の方と対局した時は、中盤は優位に立てない展開でしたが、最後まで粘り強く戦い、勝利を収めました。

チェス以外に好きなことはありますか？

各国の言語や手話を学ぶのも好きです。また、動物も大好きです。



▲ 6歳の頃



▲ 第14回 国際親善チェス大会inNIIGATA

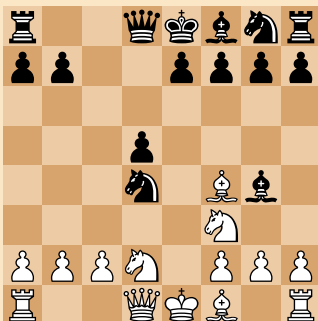
お気に入りのゲームを教えてください
一番印象に残るのは、全日本女子
チェス選手権の白番の対局です。

Jingfei, Jie

Kakishima, Hinata

全日本女子チェス選手権 2025 (4)

1.e4 c6 2.d4 d5 3.exd5 cxd5
4.Nf3 Nc6 5.Bf4 Bg4 6.Nbd2
Nxd4



7.Nxd4!! Bxd1 8.Bb5+ Qd7
9.Bxd7+ Kxd7 10.Rxd1 a6
11.N4f3 b5 12.Nb3 e6 13.Nbd2
Bc5 14.c4 Nf6 15.h3 Ke7 16.cxb5

axb5 17.a3 Rhc8 18.O-O Bb6
19.Rc1 Nd7 20.Nb3 f6 21.Bd2 e5
22.Rfe1 Kf7 23.Bb4 e4 24.Nfd4
Ne5 25.Rxc8 Rxc8 26.Ba5 Nd3
27.Re2 Bxa5 28.Nxa5 g6 29.Nb7
Rc1+ 30.Kh2 b4 31.a4 f5 32.a5
Ra1 33.Rc2 Kf6 34.Nb3 Ra2
35.Rc6+ Ke5 36.a6 Nxf2 37.N7a5
e3 38.a7 e2 39.a8=Q e1=Q
40.Qe8+ Kf4 41.Qxe1 1-0

オープニングのチャンスを生か
し絶妙手を指し、長引いた対局を
最後まで勝ち切りました。

これからの目標は？

強豪ひしめく大会にたくさん出
場し、タイトルプレイヤーを目指
します。

出てみたい大会はありますか？

チェスオリンピックに出てみ
たいです。

他のユースのプレーヤーや読者に
伝えたいこと

チェスには深い思考力が必要と
されます。諦めず練習を続けるこ
とで、確かな実力を身につけられ
ます。

チェス大会 【文】上杉賀子

in アメリカ

- 全米高校チャンピオン/FIDE マスターへの軌跡 -

息子（上杉 晋作・2007 年高校 1 年生で全日本史上最年少チャンピオン）が 2009 年チェス国籍日本の最年少 FIDE マスターとなり 2010 年全米高校選手権で優勝するまで（さらにアメリカの Senior Master の資格となる USCF レート 2400 の壁を超えるまで）参戦した、アメリカの全ての公式戦、約 180 大会の様子を順番に載せてみようと思います。渡米から 1 年半、紆余曲折を経て現地生活に馴染んできた頃、小学校のチェスクラブの案内を見かけて入部。これが始まりでした。その一年後、いよいよトーナメントプレーヤーとして出陣です。

NO.89 スプリングフィールド・オープン

2007 年 5 月 19 日～20 日

晋作 (16 歳) の結果: 4.0P/5Games
レーティング 2223 → 2231

この 2 週間前、日本に遠征して第 40 回全日本チェス選手権に出場、3 度目の挑戦で優勝し、最年少記録を塗り替え、史上最年少チャンピオンとなりました。（編集部追記：2005 年の全日本チェス選手権で当時 16 歳 5 か月だった小島慎也が初優勝し、史上最年少記録を作った。2007 年の上杉晋作はその記録を約 5 か月更新した。）このスプリングオープンのトーナメントダイレクター（World Open や Foxwoods Open でもひっぱりだこのナショナル TD）はバージニアのチェスクラブを主催しています。晋作はクラブ員ではありませんが地元の人達にとっては小学生の頃から知っていて、成長を見守ってきた我が子のような存在です。そのクラブ員を中心に首都圏のチェス界に配信されるメールに晋作のことを書いてくれました。おそらくそれがもとになっているのだと思いますが、Washington post、Washington Times などにも記事が載り、友人から The Post の記事を見たメールがきました。

★ Washington Post

Maryland Teen Becomes Japanese National Chess Champ

Shinsaku Uesugi, less than three weeks after turning 16, became the youngest National Chess Champ of Japan. During the tournament played in Tokyo, April 29-May 5, Shin took the title on tiebreak with a score of 9.5 out of 13. He eclipsed the former age record in Japan by five months. He and the other top 3 players qualified for the Japanese Olympiad Team for 2008. Shin is a Freshman at Winston Churchill High School in Potomac, Maryland. He has been rapidly moving up the rankings over the past three years with a consistent 200 point gain each year. He just became a master and this past December he was U.S. National 9th Grade Champion. His parents report that 39 players from all over Japan earned their way into the tournament by being regional champs or winning tournaments. Shin was invited back to his native Japan based on his results in the U.S. He is ranked 14th in Japan on the most recent FIDE list.

★ Washington Times

Japan's Champion from Maryland

Shinsaku Uesugi, a freshman at Winston Churchill High School in Potomac, went back to his native Japan and won the 40th Japanese Chess Championship in Tokyo this month. He became the youngest champion in the history of Japanese championships, walking away with the title 18 days after his 16th birthday. He will play for Japan at the 2008 olympiad in Dresden, Germany.

★ Beta Connection 紙

Churchill High freshman Shinsaku Uesugi already has a nice line to add to his college application: national chess champion of Japan. The rapidly improving 16-year-old master won the Japanese national title on tiebreaks last Saturday in Tokyo, scoring 9 1/2-3 1/2. Japan is not exactly a world chess power, but it's impressive nonetheless. Thirty-nine players competed in the event, and Uesugi is the country's youngest champion ever. Uesugi, who was born in Japan, also took the U.S. national ninth-grade title in December.

チェス大会 in アメリカ

- 全米高校チャンピオン/FIDE マスターへの軌跡 -

これは地元紙なので写真入りで少し大きくのせていただいたようです。

★ Potomac Almanic 紙

Triumph in Tokyo

Churchill freshman becomes youngest Japan National Chess Champion in history.

Tuesday, May 15, 2007

Winston Churchill High School freshman Shinsaku Uesugi won the 40th National Chess Championship of Japan, held in Tokyo, from April 29-May 5, and qualified for the Chess Olympiad held at Dresden, Germany in 2008. Shin broke the record for being the youngest Japan National Chess Champion in history. Thirty-nine players from all over Japan participated in the championship, qualifying by winning regional championships or qualification tournaments. Only Uesugi was invited there for his accomplishments in the United States. Uesugi just became a master and he was the current U.S. National 9th Grade Champion, at the National Grade Championship held in Florida this past December.

5月19日

日本遠征のあと、現地校の Makeup に明け暮れた2週間を経て、バージニア州のトーナメントにやってきました。2ラウンド目からは少し増えるかもしれませんが、初戦はIM2人、FM2人、USのNM(息子も含め)4人、合計76人、セクションがわかれていないオープン、スイス式なので1戦目は1600弱とやって「珍しく」すぐに勝ちました。タイムコントロールは3戦目までがG/2(持ち時間2時間ずつ)、2日目の4戦目、5戦目は30/90、SD/1です。晋作は8番シードです。知り合い、友達がいっぱいて楽しそうです。World Openの肩慣らしということでちょっと勘をとりもどせばいいなと思っています。

たった今IMの一人がお祝いを言いにきてくれました。彼はナイジェリア代表で必ずオリンピックに行かれます。晋作のチェスはおもしろくて好きだとずっと前から応援してくれている方です。ほかにも世界ジュニア選手権時代の友人達と連絡をとりあっていて晋作がオリンピックに行くかというときスペインチームのコーチで来ていたエクアドルのGMやデンマーク、ノルウェー、スウェーデンをまとめてつれてきていたデンマークのオリンピックチームのキャプテンでFMの方たちなど次々とメールがきています。と書いているとIMのカーフマンさんも初戦を終わってこられてお祝いを言ってくださいました。息子さんの



全日本チェス選手権大会で優勝していただいた全日本チャンピオンの盾とカップ

(優勝盾に2008と書かれていますが、毎回翌年の国際大会代表者を決めるということらしく、2007年の優勝者は2008全日本チャンプということで、ちょっとややこしいです。)

チェス大会 in アメリカ

- 全米高校チャンピオン/FIDE マスターへの軌跡 -

Raymond は今 FM で IM ノームをひとつ持っていて、まだ挑戦中ですが IM になったら日本でもコーチできるかななどとおっしゃっていました。FM でも十分だと思いますけど・・・またヨーロッパ遠征にむかうようです。ご存知のようにカーフマン親子は将棋界でも有名な方たちです。家族ぐるみでお付き合いさせていただいています。晋作は1戦目が思いのほか早く終わったので同じく終わった友達と会場をうろうろしたり、チェスで遊んだり。まあ遊園地につれてきているようなものです。

皆レートが下の相手なので当然といえば当然の結果ですが、3連勝で初日を終えました。3戦目はその年代の女子トップの子なのでちょっと時間かかりましたけど(FIDE1981) 終わってみれば3ポイントアップでした。今日の試合開始は10時、晋作が終了したのは夜の10時、12時間の内訳は1戦目40分、2戦目1時間、3戦目3時間、それ以外は全部バグハウス(2人vs2人の変則チェス)。食事は私が差し入れたものをバグハウスの合間に数分でかきこんでひたすらバグハウス。予想外に早く終わった試合のあとは3時間ぶっ続けでやっていました。バグハウスは見るだけでもものすごく疲れるんですけど・・・3戦目にのぞむときはふらふらだったのでと思います。本人は集中力がアップしたようで・・・なんなんでしょうね・・・晋作は大学生以上のバグハウスの「プロ(?)」達にも誘ってもらえ、中、高校生の仲間にも入れ

るのでひっきりなしでやっています。駒をもう一度使うのがおもしろいかな?それって将棋をやったら強くなれる可能性あるかな?などと私は思うのですが、ただ楽しいだけのようです。

5月20日

8番登録の晋作を含む NM 以上の8名のみが3連勝、今日が星のつぶしあいです。

4戦目、晋作は FM Raymond と。FIDE がちょうど 180 ちがいます。一度だけ対戦したことがあって、そのときは彼が遅れてきてほとんど時間が残ってなくて晋作が勝ったのですが、さすがに2連敗するはずもなく、格もちがうのでかなり気合が入ってきているようでしたが、黒で引き分けることができました。

4戦終わって全勝は IM Kaufman さんと IM Oladapo Adu に勝った NM アンディ (Samuelson) 君。最終、二人はグランドマスタートローで 4.5 (カーフマンさんは4戦目残り数秒同士の激戦だったのでドローにしたのでしょう) そして 3.5 は 6人で組わけは白黒の関係もあって FM2 人が 2000 台、1700 台とやって 4.5。NM Barnett と晋作が一番大変なペアリングとなり、両者とも勝つつもりで必死でした。結果だけ見たら「そうか」という感じですが、そばで見ていると本当に晋作が真剣にチェスをしているのがわかりました。Alex Barnett は9月から UMBC (2007年3月に授業料免除の特待生資格をとったので)。現在の州チャンピオン、州

Blitz チャンピオン、州 Quick チャンピオンのタイトル保持者、そして最近では IM Lenderman とともに全米高校選手権の覇者、元オールアメリカン。GM エルベストにも勝ったことがあるし、特に大きな大会では晋作と「格」がちがいます。普段は弟分のように可愛がってくれています。が、この勝負、彼も自分がもっている数々のタイトルの名に恥じないように、そして晋作のほうも全日本チャンピオンが負けるわけにはいかない(と私が思っただけのような気も...)と、ギャラリーも手に汗握る対戦でした。晋作は残り15分、お互いにポジション上やむなくドロー、晋作は徐々に2時間15分考えぬきました。タイムコントロールが長いのでチェス自体(試合内容はわかりませんが対戦自体が)「深い」感じがします。二人ともへとへとになっていましたが、終わってからもずっと検討していました。ほかのプレーヤーも加わってくれました。この1試合で今大会に参加した甲斐があったというものです。結果は5位タイ。2人とも注目のなか、マスター同士の意地の試合を見せつけました。本当に上位8人マスターたちの戦いという大会でした。ローカルの大会ですが、晋作もこういう仲間に入れるようになって、晋作の勝敗がトップの関心をひくようになって、成長したものだと思いました。USCF は 2230 になり、FIDE も少しあがりそうです。



初めての相手と、気軽に指せる楽しみ

Chess Center UENO

入場料 **500円** 税込

営業
時間

木 17:00
▼
曜日 22:00

土 12:00
▼
曜日 17:00

日 12:00
▼
曜日 17:00

チケットご購入
(Peatix)

※最終入場は各営業日の終了30分前です。



チェスセンター上野

東京都台東区北上野2-11-3シルバーフラット101

Access :

東京メトロ日比谷線 入谷駅 徒歩8分
東京メトロ銀座線 稲荷町駅 徒歩9分
JR/東京メトロ 上野駅 徒歩11分

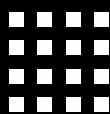
公式HP : [リンク](#)

お問い合わせ : info.chesscenterueno@gmail.com



1人でもOK

スタッフがお相手します！



各部最大16人

みんなで一緒に！



保護者の付き添いOK

未成年1人につき1人まで無料

所在地
(Google Map)



※価格、営業時間は掲載時点のものです。

編集部

木下奏子 神田大吾

山内美加 真鍋浩

鈴木秀聡 桑田晋

森谷真理子 白水宏樹

(順不同)

発行

一般社団法人 日本チェス連盟

本誌に掲載された写真、イラスト、記事、棋譜の解説等について、無断転載および無断配布を禁止します。著作権はそれぞれのクリエイターにあります。ご意見・ご感想などは japanchess.editor@gmail.com までお寄せください。